

時代!!!

1つて落とされる!!!

勝開あげたツワモノの闘い

2/12日

劇王革新まで取る首三つ!
奮戦必勝の巴戦!

第9代劇王決定巴戦

今回は劇王が空位につき次の方法で決勝を戦う3チームを選出します。
①Aプログラム最高得点者 ②Bプログラム最高得点者 ③審査員特別推薦者
①と②については従来通り、③についてはA、Bプログラムの最高得点者以外からゲスト審査員に「もう一度やらせたい!」と思ったチームを選出して貰います。果たして逆転勝利はあるのか? ないのか? 窮鼠猫を咬むのか? それとも咬ませ犬か? 乞うご期待!
※③はBプログラム終了後に決定します。

長久手歴史トラベラース



小牧・長久手の戦いにゆかりのある武将4人と現代の歴史女2人、黒子の7人で長久手の歴史や観光をPRしています。

2/12に参上!

『怪物の飼いならじ方』

2月17日(土) 16:30~

今更ながら映画「CLOVER FIELD」を観ました。逃げながら手持ちのビデオカメラに収めた被災状況・・・真っ先に3.11が囁きをよぎりました。作り手が「怪物」を想定する時、それは現実社会においてどんな意味を持つのか? ナニを暴こうとしているのか? この前劇人達に答えを聞いてみたいと思いました。(by 佃)

出演: 川村毅、伊東由美子、大西一郎 / 司会: 安住恭子

『読んで楽しむ観て楽しむ』

2月12日(日) 13:00~

小説が舞台化された作品は結構ありますが、読み物として完成されている物を舞台化するとはどういう効果があるのでしょうか。思いきって作家本人に聞いてみたいのですが上手く話せる自信が無い。そうだこはひとつ環境問題から超常現象、少女マンガまで幅広い知識を持つはせひろいち初代支部長に聞いて頂きますよ! (by 平塚)

出演: 諏訪哲史、はせひろいち

タイムスケジュール

2月17日(土)	2月12日(日)
	13:00 読んで楽しむ 観て楽しむ
	14:00
14:30 Aプログラム	14:30
	16:00 決勝巴戦! 結果発表 及び 講評
怪物の 飼いならじ方	16:30
	18:00
	18:30
Bプログラム	20:00



川村毅
撮影: 川上尚見

作家、演出家、ディレクター。1985年度第30回岸田國十戯曲賞を「新編八犬伝 巻一 犬の運命」にて受賞。96年ACCU米墨前交流プロジェクトによりNY滞。98年ニューヨーク大学に客員演出家として招かれる。近年の主な作・演出作品に「AOI/KOMACHI」(03年世田谷ハブックスシアター主催公演、07年国内及び北米ツアー)、小説を基にした主演の一作劇シリーズ「路」(最新作「路上3.11」12月SPACE雑居)、新編八犬伝(89-10年5巻完結)等。P2パノラマ二の戯曲作品「日本初演 豚小屋」(11年、構成・演出)は、2012年をシリーズとして順次発表予定。戯曲集他著書多数
<http://www.factory.jp/>



伊東由美子

1959年11月 東京生まれ。1982年 法政女子大学卒業。1983年 劇団離魂劇を大橋泰彦とともに旗揚げ。以後大橋のほとんどの作品に出演。自らも17本の作・演出作品を手がける。現在も、劇団主宰者であるとともに、制作家・演出家・女優として年間約3本のペースで舞台作品を演出または演出し、映像作品にも意欲的、マルチな活動を続けている。



大西一郎

作家・演出家、神奈川県藤沢市出身。慶應義塾大学法学部法律学科卒。1989年に演劇プロデュースユニット【ネオゼネライター・プロジェクト】を前身「ドルフィンズマイル」(91)で慶應義塾主催N氏戯曲賞受賞。「F O R E S T」(93)で第一回シアター・ユークン戯曲賞最優秀賞となる。近年は演出家としての活動が中心。日本演劇者協会事務局長、若手演出家コンクール実行委員長、演劇大学国民権実行委員長、日本劇作家協会会員、編演・100周年・初演都市事業本部との共催で発足した横浜未来演劇シアターでは製作総指揮・実行委員会事務局長。



諏訪哲史

作家。1969年名古屋生まれ。国学院大学文学部哲学科卒業。在学中から戯文字者の故郷科学弘に師事。2007年小説「アリッテの人」で長編新人文学賞・坪川賞を受賞。長編作品は他に、「リリさん」「ロンバルディア遠景」(講談社)があり、2011年11月30日には新潮社から新作短編集「罰土」を発表した。愛読する文庫と、「口論論の哲学」を追求する作風で知られる。最近では、「次回はあえて平凡な恋愛小説を書く」と豪語している。

ゲスト審査員紹介